



ききみみずきん

●<http://tosyokan.city.kitakata.fukushima.jp/>

10月～12月の図書館スケジュール 平日9:30～19:00 土日祝日9:30～17:30

10月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月						
日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31	1/1	1/2

- 休館日(※12月28日(月)～1月4日(月)は年末年始休館になります) ★ 各種催し物
- 🏠 おはなしドライブ(11:00～11:30) ♡ ちっちゃなおはなしかい(11:00～11:20)
- ✳️ ユニットおりがみ教室(10:00～11:30) ✂️ 生活充実講座(10:30～11:30)
- カ おはなしカーニバル(11:00～12:00) ス すずの音会 おはなしドライブスペシャル(11:00～11:50)
- B ブックスタート(第3木曜日 10:15～10:45 第3土曜日 10:00～10:30 最終日曜日 13:30～14:00)

図書館からのお知らせ

★第2回 生活充実講座～ストレッチ～
 日ごろの運動不足解消に無理なく出来るストレッチ体操をおこないます。初めての方・運動が苦手な方もお気軽にご参加ください。
 日時:平成27年10月10日(土) 10:30～11:30
 会場:喜多方市立図書館 2階 第二閲覧室
 講師:安部 真由美(あべ まゆみ)氏
 対象:小学5年生から(妊婦の方はご参加いただけません)
 定員:15名 参加費:無料
 持ち物:ヨガマットまたはバスタオル、飲み物、汗拭きタオル
 ※10月1日(木)から受付を開始します。

 **要申込**

★第2回 読み聞かせ応援講習会
 読み聞かせをされている方、読み聞かせに興味のある方を対象に、講習会を開催します。
 今回は赤ちゃんから小学生まで遊べるわらべうたの実践講習です。
 日時:平成27年10月31日(土) 13:30～15:00
 会場:喜多方市立図書館 2階 第二閲覧室
 講師:瓶子 美千子(へいし みちこ)氏
 対象:読み聞かせをされている方、読み聞かせやわらべうたに興味のある方
 定員:20名 参加費:無料
 ※10月1日(木)から受付を開始します。

 **要申込**

★利用者アンケート
 今年度も利用者アンケートを実施いたします。期間中ご来館されたお客様にご協力をいただきたいと存じますので、よろしくお願いいたします。
 配布期間:平成27年10月27日(火)～11月29日(日)
 ※回収は、12月13日(日)まで

 

この他にも催し物を企画中です。
 館内のポスター掲示やホームページ、広報きたかたなどでお知らせします。



申込は、図書館カウンターまたはお電話で。
 お問い合わせ 喜多方市立図書館 TEL0241-22-1855

特集①「せびろまの夢 ろはロダンの口展」

「せびろまの夢 ろはロダンの口展」 会期 平成27年10月31日(土)ー11月23日(月・祝) 会場 喜多方市美術館

喜多方市美術館で平成25年より始まった展覧会「せびろまの夢」は、今年で3回目を迎えます。

公益財団法人大原美術館(岡山県倉敷市)のご協力を頂き、セピロマ会の由来となったセザンヌ、ピカソ、ロダン、マティスの作品を一作品ずつ4年間にわたって展示するという企画です。

「せびろま」とは?

戦後の昭和21年(1946)に、佐藤恒三が発足させた「セピロマ会」。この当時、すでに喜多方市には喜多方美術倶楽部が存在しました。「せびろま」とは、セザンヌ、ピカソ、ロダン、マティスそれぞれの頭文字をとって組み合わせたものです。

「ろはロダンの口展」

今年はロダンの作品3点が喜多方にやってきます。併せて大原美術館のレジデンスプログラム経験者である、上田暁子氏の作品4点が展示されます。また、氏を喜多方にお招きし、アーティスト・イン・レジデンスを行い、そこで制作された作品も公開・展示されます。喜多方の芸術文化の「過去」と「現代」が楽しめる企画展です。

※喜多方市立図書館でも、特集コーナーを設け(「せびろまの夢 ろはロダンの口展」会期中)、ロダンに関する本、美術作品や絵画に因んだ本を展示しています。

【展示作品】

・オーギュスト・ロダン

『ゴロツキの首』、『ロダン夫人』、『ある小さき影』

・上田 暁子

『とある熱を通り抜ける』、『一度だけ行かれる海』

『記憶の花脱いで』、『あふれて入口、あふれて出口』

【オープニングセレモニー】

日時:平成27年10月31日(土) 9:45~10:00

会場:喜多方市美術館正面入口

【映画「カミーユクローデル」上映会】

日時:平成27年11月14日(土)・15日(日)

各13:30~16:00

会場:喜多方プラザ文化センター視聴覚室

特集②ブックスタートのご案内 ~赤ちゃん絵本との出会い~

平成27年8月30日から喜多方市立図書館にてブックスタートが始まりました!

ブックスタートとは、赤ちゃんに「絵本」を通してゆっくり心ふれあうひとときを持つ、きっかけをつくる活動です。

対象:4か月児健康診査の対象となる赤ちゃんとその保護者(平成27年4月以降にお生まれのお子さんが対象です。)

会場:喜多方市立図書館 1階 えほんのへや

開催日時:毎月3回開催いたします。

第3木曜日(10:15~10:45) 6組まで

第3土曜日(10:00~10:30)10組まで

最終日曜日(13:30~14:00)10組まで

申込方法:希望される開催日の前日までに、図書館カウンターまたはお電話にてお申し込みください。(受付は先着順となります。)

持ち物:①母子健康手帳

②ブックスタート絵本引換券(喜多方市から送付される4か月児健康診査の通知に同封されています。)

参加料:無料

その他:当日は、お子様と一緒にご参加ください。



★ブックスタートパックの内容例★
絵本1冊・コットンバッグ・イラストアトバイス集・絵本リスト・喜多方市立図書館ご利用あんない・図書貸出申込書

【プレゼント絵本】(平成27年度)

①『じゃあじゃあびりびり』

②『おつきさまこんばんは』

③『がたんごん がたんごん』

④『ぴよーん』

⑤『くだもの』

⑥『のりもの つみき』

※上記6種類の絵本の中から好きな1冊をお選びいただけます。



「ちっちゃなおはなしかい」

0歳の赤ちゃんから参加できる楽しいおはなしかいです。

日時:毎月第3木曜日 午前11:00~11:20

場所:喜多方市立図書館 1階 えほんのへや

おすすめ図書ラインナップ！

毎週木曜日に新しい本が入ります。
お楽しみに！



『生命の星の条件を探る』

阿部 豊／著

文藝春秋 2015・8 (445 ア)



著者の阿部豊氏は、幼少の頃1冊の絵本と出会ったことが、現在の研究を始めることにつながる。2003年に筋萎縮性側索硬化症（ALS）を発症した著者は、今回の執筆もたいへんな労力と時間を要したという。この本では、地球上に生命があと何年住めるのか、またその条件、惑星の中に地球のような生命体は存在するのかなどが、興味深くわかりやすくまとめられている。



『会津物語』

赤坂憲雄／編著

会津学研究会／編著

朝日新聞出版 2015・8 (L382 ア)

ヤマンバユウ・オテンゴサマ・天狗の空木倒し・子授けの像・地蔵様となくし物・きつねが登場する話など、今も会津に息づく不思議な世界。東日本大震災をきっかけに、会津の古老たちから聞き書きを重ね採取しまとめた。会津には『老媪茶話』という『遠野物語』の源流ともいえる奇談集がある。喜多方の話も4話収録。

『マイ・ヴィンテージ・ハロウィン』

マリオン・ポール／著

蒲池 由佳／ほか訳

グラフィック社 2015・8

(386 ポ)



日本人にはあまり馴染みのないお祭り「ハロウィン」。この本では、ハロウィンを楽しむための知識や情報が紹介されている。その由来や歴史のほか、カボチャ・魔女・黒猫といったハロウィンを象徴するものにまつわる話、飾り付けの仕方やおもてなしのお菓子の種類も知ることができる1冊。おしゃれな葉ひも付き！

* 『朱子学入門』 (125 カ)

垣内 景子／著 ミネルヴァ書房 2015・8

* 『はじめての園芸入門』 (620 カ)

金子 明人／著 講談社 2015・8

* 『ダメなやつほどダメじゃない』 (779 ハ)

萩本 欽一／著 日本経済新聞出版社 2015・8

* 『気付くのが遅すぎて、』 (914 サ)

酒井 順子／著 講談社 2015・8

* 『十字の記憶』 (F ド)

堂場 瞬一／著 KADOKAWA 2015・8

こちらもおすすめ！

新着CD情報！

「一般社団法人日本レコード協会」様よりCDを寄贈していただきました！



寄贈いただいた新着CDの一部をご紹介します。

● 『LIVE LIFE』 (C290 オ)

● 『日本の恋と、ユーミンと。』 (C290 マ)

● 『すべてが歌になっていった』 (C290 モ)

● 『ヒメのなみだ』 (C290 ヒ)

● 『逢い初め』 (C290 ヤ)

● 『美川憲一全曲集』 (C290 ミ)

● 『北島三郎全曲集』 (C290 キ)

● 『里見浩太郎全曲集』 (C290 サ)



● 『島津亜矢2013年全曲集』 (C290 シ)

● 『前川清2013年全曲集』 (C290 マ)

● 『川中美幸2014年全曲集』 (C290 カ)

● 『カシス』 (C290 イ)

● 『テレサ・テン トリビュート』 (C290 エ)

● 『同窓会』 (C290 ド)

● 『森羅万象 イルカ セレクトベスト』 (C290 イ)

● 『NHKラジオ体操第1第2』 (C730 エ)

平成27年3月2日、文化庁より、「慶徳稲荷神社の田植神事」が会津美里町の「伊佐須美神社の田植神事」とともに『会津の御田植祭』として、記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択されました。

御田植祭りとは？

日本には、「御田植祭り」と呼ばれ、神田などで氏子が儀礼的な田植えを行って、豊作を祈願する行事（田植神事）が西日本を中心に広くみられます。会津地方は、全国にある田植神事の北限に位置し、その分布を考える上で非常に注目されます。

現在、会津地方で伝統的な形を継承している田植神事は、喜多方市慶徳町の稲荷神社と会津美里町の伊佐須美神社の2つしかありません。ともに県の無形民俗文化財として「慶徳稲荷神社の田植神事」は昭和63年（1988）に、「伊佐須美神社の田植神事」は昭和55年（1980）に指定されています。



<デコ人形>

慶徳稲荷神社の田植神事



<早乙女による田植えの様子>

「慶徳稲荷神社の田植神事」は、会津一円で「慶徳の御田植祭り」として特に知られるお祭りで、毎年「半夏生（はんげしょう）」の日に行われます。半夏生は通常7月2日で、閏年が7月1日となります。当時は半夏生までに田植えを終わらせると豊作になると言われていました。神事は、社殿における祝詞奏上（のりとそうじょう）、田植歌の奉納、御輿渡御（みこしとぎょ）と進みます。御輿が神田に着くと、デコと呼ばれる田植人形を畔に立て、田植歌に合わせて、狐の面を持った子供たち（白狐）が神田に苗を投げ入れ、早乙女たちがその苗を植えます。現在では、早乙女・白狐とも市立慶徳小学校児童が担当します。

祭りは、明応年中（1492～1501）に当地の地頭であった平田石見守（ひらたいわみのかみ）が神田を寄付し、田植歌に合わせて田植えを行ったのがはじまりとされています。天正の乱（1582）で平田氏が滅びてからは氏子が神田を寄付し、明暦二年（1656）まで祭りが続きました。その後は中断したものの、天保五年（1834）に祭りは再興されました。約180年の中断により、田植歌の節や踊りが忘れられてしまったため、祭りの再興にあたり、歌の節は、会津藩の雅楽頭であった浦上秋琴（うらかみしゅうきん）により作曲されました。早乙女踊りについては、昭和50年代に故佐藤貞子氏によって創作され、今に再現されています。

慶徳稲荷神社

神社由緒によると、寛治五年（1091）、源義家が奥州・清原武衡、家衡征伐のため会津を訪れた際、京都の伏見稲荷神社をこの地に勧請したのがはじまりとされています。その後、領主の変遷、兵乱が続いたため、神社は朽ち果て、神木だけになってしまいましたが、応永三年（1396）に慶徳寺を開山した源翁和尚（げんのうおしょう）が霊女の夢の知らせにより、この神社の再興を思い立ち、社殿や境内の整備を行い、元の姿に復元しました。慶徳稲荷神社は、会津の人々にとって、稲作のよりどころとして深く信仰され、お田植え祭り当日には、田の水口に立てる虫除けの札を求めて、近郷・近在より多くの参詣者が訪れ、その流れが絶え間なく続いていたと言われています。境内には、神社の創設時に植えられたとされ、樹齢約900年といわれる大スギがあり、県の「緑の文化財」に指定されています。 ※緑の文化財…社寺等の建築物や遺跡など、歴史的な重要物と一体となっている樹木や森を「緑の文化財」として登録しています。

【ご協力】喜多方市 教育部 文化課 TEL 0241-24-5323・5327

参考

『喜多方市史第1巻』喜多方市史編纂委員会／編1999（L 216 キ）

『喜多方市文化財ガイドブック』喜多方市教育委員会／編2010（L 709 キ）

『会津の神社』笹川 寿夫／著1995（L 175 サ）

『喜多方市史第9巻』喜多方市史編纂委員会／編2001（L 216 キ）

『喜多方市の文化財』喜多方市の文化財編集委員会／編1991（L 709 キ）

『緑の文化財』福島県総合緑化センター／編（L 652 ミ）

図書館ここだけの話

8月から会場を図書館に移動し、喜多方市のブックスタート事業がリニューアルしました。1対1でおうちの方や赤ちゃんとお話できることは、とても素晴らしい取り組みです。対象の方は、ぜひご参加ください。ところで、みなさんご自身が読まれた本の記録、取っていますか？ノートでも構いません。感想も加えながら、記録を残してみるのも楽しいですよ。私は、どれだけ読んだかページ数を累積しています。ご自身のあしあととして記録ノートを作ってみませんか？（館長）

【編集後記】

- * 観光コンシェルジュのコーナーを作るにあたり、「慶徳稲荷神社の田植神事」の取材に行ってきました。私も喜多方の紹介をしながら、改めて喜多方の魅力を再発見しています。協力していただいた市役所文化課の皆様ありがとうございました（A・O）
- * 喜多方に嫁いで、はやウン十年が経ちましたが、今回の「慶徳稲荷神社の田植神事」取材に同行して初めてお田植祭りを実際に目にし感動致しました。地元の宝を持つ誇りに、地域の方や子どもたちの生き生きとした表情が印象的でした。（K・S）